



学校だより 12月号



令和2年11月25日
横浜市立三ツ沢小学校

12月は「人権月間」

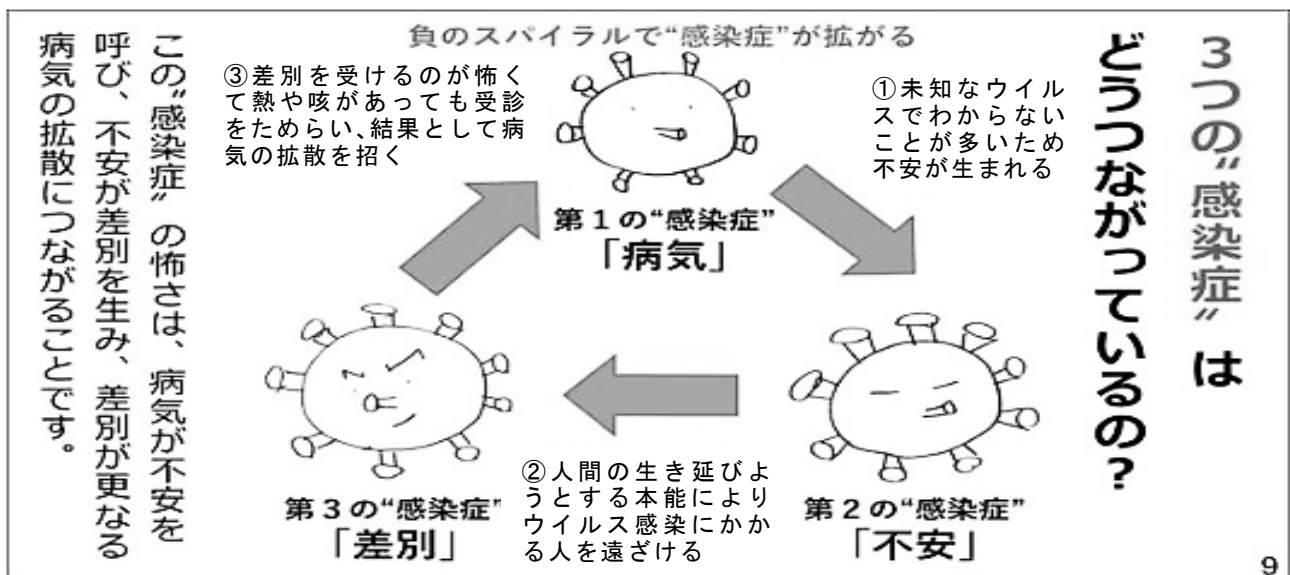
校長 重田 英明

国道沿いの商店の店先では、ひととき華やかな色のシクラメンやポインセチアが目を引き頃となりました。早いもので、今年も残すところ1ヶ月あまりです。

例年、私はこの時期になると気ぜわしさはあるものの、目前のクリスマスやお正月の賑やかさから、何となくウキウキと過ごしていました。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大やインフルエンザ流行の兆しなどについて考えると、いつものようにはいきません。もう一度、気を引き締めて感染対策を継続していこうと考えております。

さて、毎年12月4日から10日までは「人権週間」、12月10日は「人権デー」となっており、12月はいつも以上に人権について考える「人権月間」です。本校でも12月1日にテレビ放送で人権集会を開き、今年度は「国際理解」をテーマとして、子どもたちが人権について考える時間を設ける予定です。国籍や人種、文化などによる差別や偏見をもつことなく、誰もが安心して豊かに生きていくことができる社会をつくるための一助になればと考えております。

ところで、私たちの社会の中では、コロナ禍においても残念なことに差別や偏見、嫌悪が起きています。次の図は、日本赤十字社が「負のスパイラル」を知り、断ち切るためのガイドとして作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～」の一部分です。http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html



私たち大人が、まずこのような“負のスパイラル”が身近にあることを十分に理解し、それを断ち切ることの大切さを子どもたちに教えながら、今後も続くであろう感染対策に取り組んでいくことが求められているような気がします。

最後になりますが、今年も保護者・地域の皆様には、本校教育活動に多大なご支援、ご協力をいただき、職員一同、深く感謝申し上げます。

新しい年が皆様にとって、さらによい年になりますようお祈りいたします。